

今月の



## 隣に伝えたい 新たな言葉と概念

### 【クリティカルパス／クリニカルパス】

英 critical pathway/clinical pathway

#### 【用語の解説】

クリティカルパスは、1958年に米国で産業界の製造工程管理手法として開発された。

その後、米国で1983年に DRG/PPS (Diagnosis-Related Group/Prospective Payment System：診断群別包括支払方式) が導入され、在院日数の短縮やコスト削減などの経営改善の手段として1985年、米国の看護師 Karen Zander と Kathy Bower が製造工程管理手法のクリティカルパスを応用し、クリニカルパスを開発した<sup>1)</sup>。

定義について日本クリニカルパス学会<sup>2)</sup>は、「患者状態と診療行為の目標、および評価・記録を含む標準診療計画であり、標準からの逸脱を分析することで医療の質を改善する手法」としており、立川<sup>3)</sup>は、「一定の疾患をもつ患者に対して、入院指導、オリエンテーション、ケア処置、検査、投薬、食事指導、退院指導などをスケジュール表のようにまとめたもの」としている。

その効果は、チーム医療実践のために多職種が情報を共有することにより、医療スタッフのみならず、患者にとっても治療や入院の経過の理解に役立つと同時に、チェック漏れ等によるミスの防止にも貢献する。また、患者の同意と協力を得ながら業務を効率化することにより、在院日数調整や医療資源の効率的運営につなげることができる。さらに、治療成績の評価や変動要因（バリエーション）の分析を行い医療の質向上につなげることができる。

産業界で使われていたクリティカルパスを医療界に応用し、クリニカルパスが誕生したが、名称については、学会や施設により混在しているのが現状である。

#### 【参考引用文献】

- 1) 濃沼信夫. パスの学術史. 日クリニカルパス会誌 2013 ; 15 : 153-6.
- 2) 副島秀久. クリニカルパスで医療の革新を. 日クリニカルパス会誌 2014 ; 16 : 367.
- 3) 立川幸治. クリティカルパス. 治療 1999 ; 81 : 1350-58.

(国立病院機構横浜医療センター 臨床検査科 臨床検査技師長 日吾 雅宜)

本誌203pに記載